



目次

- 会長挨拶 2
- 学長挨拶 3
- 平成27年度会務報告 4
- 平成27年度会計報告 5
- 平成28年度総会の風景 6
- 平成28年度活動方針、事業委員会からのお知らせ 7
- 支会だより、同窓会だより 8
- 会員からのたより、研修会だより 10
- 一泊研修会だより 11
- 事務局だより 12

**2017年
同窓会総会**のご案内

■と き
平成29年5月21日(第3日曜日)
午前10時から

■と ころ
奈良教育大学 山田ホール 他

○出席者は、準備の都合上、
5月15日(月)までに事務局へ
お申込みください。



ご挨拶



永い歴史と伝統に輝く奈良教育大学同窓会の会長を拝命し光栄に存じております。先輩諸氏が築いてこられた多くのご功績に心から敬意と感謝の意を表します。

去る5月15日、平成28年度の総会において新年度の役員が承認されました。役員一同心を一つにして、同窓会活動進展のために鋭意努力して参りますので会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

前会長の中谷氏が目指してこられたことを本年度も引き続き推進して参りたいと思っています。具体的には支会活動の更なる発展と充実、同期同窓会の運営、強化など、地域や環境に応じた様々な活動を期待しています。その活動が会員の増加並びに会費の増収につながれば嬉しい限りです。

次に、本年度は特に、「奈良教育大学への入学時の入会について」の働きかけをしています。昨年度実施した一泊研修旅行には、大学教授のご協力をいただき、院生2名の参加があり多くの成果を収めました。同窓会が学生一人一人の将来につながる有意義な存在であることへの理解が深まったと思っています。(参加者の感想文 P11)

更に、奈良教育大学は「地域への貢献度」において文部科学省から高い評価を受けています。(※1)

各地でご活躍の同窓会員の皆様の力強い歩みが支えになっているものと確信しています。同窓会の活動が大学の運営と相俟って更なる発展につながれば、大変ありがたいことです。

そのことが奈良教育大学で学ぶ学生の一人一人の心に響き、同窓会への意識の

会長 森 康雄

向上につながると信じています。子どもたちの教育に携わることへの自覚を深めるとともに責任感の強い同窓会員として社会に貢献していただきたいと願っています。(※2)

会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

※1 国立大学交付金の配分について

文部科学省は、国立大学改革の一環として大学が目指す方向性を「地域貢献」「特色ある分野の教育研究」「世界で卓越した教育研究」の3つの枠組みによる評価を行い、去る3月10日の朝刊各紙で報道されました。その中で奈良教育大学は、「地域貢献」において118.6%という高い評価を受けたことを報じていました。

わが同窓会も、この高い評価を大きな喜びとするところです。奈良教育大学の今日までの着実な歩みを称えるとともに、同窓会としても、できる範囲の支援を惜しんではならないと感じています。

※2 学外で地元と交流して学ぶ

奈良教育大学4回生 片山 健太

奈良教育大学陸上競技部は、毎年地元奈良市で開催する様々なスポーツ大会の運営に参画し協力する伝統があります。いつごろから始まったのか定かではないが、関係者からは大変重宝され、その活動は高い評価をうけています。

ゼミや講義だけで過ごす学生生活だけでなく、学外で学ぶ経験は興味関心が広がり、有意義な将来への基礎づくりにもなります。



第三期中期目標期間の取り組み



学長 加藤 久雄

奈良教育大学同窓会会員の皆様、母校奈良教育大学への物心両面にわたるご支援に対しまして、心からお礼申し上げます。

国立大学は平成16年に法人化し、今年で13年目を迎えました。6年間を一期として、今年度は第三期のスタートの年となります。本学は、この第三期中期目標期間（平成28年度から33年度の6年間）において、「教育委員会・学校・地域との組織的連携・協働により、教員養成・研修機能を強化する。」「現代の教育的課題に対応するプロジェクトを組織し、その研究成果を発信・展開する。」の二つの戦略に取り組むことによって、地域の幼稚園、小学校、中学校等の教員養成と教員研修に関して、さらに中心的役割を果たしていきます。とともに、現職教員研修等の協働による実施や、教育組織・教員組織の再編などの自己改革を持続的に進めていきます。また、「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成をめざすユネスコスクールとしての実績を発展させ、「持続可能な開発のための教育（ESD）」の推進拠点としてその理念に立った研究と実践を進めていきます。

法人化後、大学には、「奈良県における小学校教員の占有率について、現状は20%であるが、第2期中期目標期間における改革を行いつつ、第3期中期目標期間中は30%を確保する。」等、数値目標が定められております。このような取り組みを通じ、大学卒業と同時に教員として現場に立つことができ、教員としての役割を果たすことのできる学生を一人でも多く送り出してまいりたいと考えております。

引き続き、これまで以上のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と同窓会のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

第15回 公開文化講演会のご案内

本年度の講演会は、昨年10月奈良教育大学学長に就任されました加藤久雄先生の講演をお願いしています。日本で最初のユネスコスクール加盟大学として注目されている学生の姿をお話いただけるものと楽しみにしています。一般の方々のご参加もお待ちしています。

記

- 日 時 平成28年11月19日(土) 午後1時30分～3時
- 会 場 奈良教育大学 学生会館内 山田ホール
- 演 題 世界遺産に学ぶ ―ユネスコスクールとESD―
- 講 師 奈良教育大学 加藤久雄学長

■ ※ESDについて Education Sustainable Developmentの頭文字

「接続可能な開発のための教育」といわれ、2002年に日本からの提案で「国連ESDのための10年(DES10)」が国連で採択されました。その主導機関としてユネスコが指名され、日本では学校現場におけるESDの推進拠点としてユネスコスクールが位置付けられました。(奈良教育大学広報紙「ならやま」より)

平成27年度 会務報告

- | | | | |
|-----------|--|------------|---|
| 4月1日 | 会計監査より監査を受ける
第1回本部役員会 | 9月30日 | 中間卒業式 卒業生 4名 |
| 4月2日 | 大学入学式 中谷会長 副会長
式典に参列 入学生 257名 | 10月23日 | 第6回本部役員会 |
| 4月25日 | 理事・評議員会 38名出席
総会に提案する議案を討議検討
大阪興東会 | 11月1日 | 理事・評議員会 39名
第2回会合企画事業委員会 |
| 4月27日 | 天理支会 | 11月6日 | 親睦研修会の準備 |
| 5月8日 | 第1回会合企画事業委員会 | 11月6日 | 大阪奈良教育大学同窓会 |
| 5月11日 | 第1回広報活動委員会 | 11月7日 | 第14回一日親睦研修会 27名
羽曳野(河内ワイン)・岸和田(だ
んじり会館)・河内長野(国華園)
の研修を通じて、会員相互の親睦
を図った。 |
| 5月16日 | 総会資料綴り作業・会場準備 | 11月15日 | 大阪興東会退職校長会総会 |
| 5月17日 | 平成27年度総会 82名
総会後のアトラクション
・混声合唱 楽桜混声合唱団
・落語 春寒亭遊若師 | 11月21日～23日 | 第66回“輝薨祭”(大学祭開催) |
| 5月29日 | 第2回広報活動委員会
会報「まほろば」編集委員会 | 11月28日 | 磯城支会 |
| 6月3日 | 第2回本部役員会 | 11月29日 | 郡山支会 |
| 6月10日 | 第3回広報活動委員会 | 12月5日 | 奈良市支会 |
| 6月15日 | 第4回広報活動委員会 | 12月11日 | 第7回本部役員会 |
| 6月22日 | 第1回組織委員会 | 12月23日 | 年忘れ研修会 参加者 25名
加藤新学長を迎えホテル美松で開
催した。 |
| 7月13日 | 第3回本部役員会 | 1月9日 | 大阪興東会新年総会 |
| 7月15日 | 「まほろば」第28号発行
臨時理事会 | 1月22日 | 第8回本部役員会 |
| 8月19日 | 第4回本部役員会 | 2月3日 | 第5回広報活動委員会 |
| 8月29日 | 東大阪支会 | 2月19日 | 第9回本部役員会 |
| 9月18日 | 第5回本部役員会 | 3月18日 | 第10回本部役員会 |
| 9月26日～27日 | 史跡めぐり同好会一泊研修の旅
元善光寺・無言館で研修
大学院生2名と教授1名参加
会員と学生との交流が出来た。 | 3月24日 | 入会事務準備 |
| | | 3月25日 | 奈良教育大学
卒業証書、学位授与式
卒業生 339名
入会者 110名 昨年 109名
会費納入者 119名 昨年 105名 |

第4回 楽桜会コンサート

- **と き** 平成28年10月23日(日)
午後1時30分開場 午後2時開演
- **と ころ** 秋篠音楽堂(近鉄西大寺北口 近鉄デパート6階)
入場無料

音楽専攻者同窓会「楽桜会」は今年発足30年を迎えました。卒業後もコツコツと音楽の勉強を続けている会員を応援しながら互いの友好も深めて楽しく歩んで参りました。

今秋も「第4回楽桜会コンサート」を開催します。新卒のフレッシュなトランペットから、S61年修了のご夫婦によるピアノ連弾まで、同窓会主催に相応しいプログラムです。

どうぞ10月23日(日)には同期のみなさまお誘い合わせてご来聴いただきご一緒にお楽しみください。一同、秋篠音楽堂でお待ちしております。 楽桜会会長 松原さおり

平成27年度 奈良教育大学同窓会一般会計決算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(歳入の部)

単位：円

款	項	本年度予算額 (A)	本年度収入額 (B)	比較増減額 (B-A)	備	考
会費		3,890,000	3,490,510	△399,490		
	1 通常会費	3,450,000	3,134,510	△315,490	1395名	
	2 入会金	240,000	224,000	△16,000	中間2名	3月110名
	3 臨時会費	200,000	132,000	△68,000		
繰入金	基金より繰入れ	0	0	0		
繰越金	前年度繰越金	39,981	39,981	0		
利子	利子及び雑収入	0	133	133	貯金利子	
合計		3,929,981	3,530,624	△399,357		

(歳出の部)

単位：円

款	項	本年度予算額 (A)	本年度支出額 (B)	比較増減額 (A-B)	備	考
事務費		1,737,000	1,851,890	△114,890		
	1 報酬	984,000	1,029,000	△45,000	事務局長・事務局員報酬	
	2 諸手当	198,000	168,000	30,000	交通費、諸手当	
	3 役員旅費	200,000	252,240	△52,240	役員会旅費等	
	4 備品費	40,000	38,007	1,993	事務備品等	
	5 消耗品費	30,000	20,806	9,194	印刷用紙他	
	6 通信費	80,000	125,112	△45,112	切手・はがき・電話料金等	
	7 賃借料	205,000	218,725	△13,725	複合機リース代・コピー代	
会議費		320,000	337,143	△17,143		
	1 役員会費	20,000	17,762	2,238	役員会、理事会、評議員会等	
	2 総会費	300,000	319,381	△19,381	総会、懇親会等	
事業費		1,840,000	1,171,270	668,730		
	1 会報発行費	1,515,000	874,860	640,140	会報「まほろば」28号	
	2 新会員歓迎費	75,000	50,000	25,000	入会歓迎会費等	
	3 事業活動費	250,000	246,410	3,590	親睦見学会・各種活動支援	
	4 事業基金	0	0	0		
予備費		32,981	27,000	5,981		
	予備費	32,981	27,000	5,981		
合計		3,929,981	3,387,303	542,678		

差引現在高 3,530,624 - 3,387,303 = 143,321円 (次年度へ繰り越す)

特別会計現在高 (平成28年3月31日)

1. 事業基金	7,460,583円
郵便局 (定額)	300,000円
南都銀行 (定期)	226,041円
ゆうちょ (定額)	6,279,000円
ゆうちょ (預金)	655,542円
2. 学生短期融資資金	338,062円
南都銀行 (定期)	338,062円
合計	7,798,645円

監査報告

平成27年度の会計決算を、詳細に監査いたしましたところ、諸帳簿等は、よく整備され、正確適正に処理されていたことを認めます。

平成28年4月1日

会計監査 野 阪 雅 美 
 会計監査 大 澤 清 

平成28年度 奈良教育大学同窓会総会の風景

去る5月15日に行われた総会には、ご来賓として加藤学長、豊田副学長、顧問・名誉理事の先生方をお迎えし、各地域でご活躍いただいている理事・評議員・会員の皆様のご出席をいただき盛大に開催することができました。会場の山田ホールには、熊本地震で被災された方々への、会員一人ひとりの心を表すための募金箱が設置され、後日日本赤十字社奈良県支部へお届けしました。以下、会場の雰囲気を写真を通してご紹介します。



①加藤久雄学長の祝辞



②北良夫議長の進行で議事が進み熱心な討議を重ねました。



③28年度本部役員承認



④熊本地震災害義援金



⑤楽桜混声合唱団の素晴らしい歌声
(美空ひばり名曲メドレー)



⑥アランド中路氏によるマジックショー
(不思議で楽しい見事な手さばき)



⑦学生食堂での懇親会
(学生時代の思い出に花が咲く)



平成28年度 本部役員 (敬称略)

- 【顧問】 柳澤 保徳(元学長)・長友 恒人(前学長)・加藤 久雄(学長)・長田 光男(元会長)
西田 史朗(元会長)・中谷 要(前会長)
- 【会長】 森 康雄
- 【副会長】 中川 克己・西川 健・吉田 貴子・松原さおり
- 【会計】 久保三左男
- 【監事】 野阪 雅美・倉本政太郎
- 【委員長】 西川 健(組織)・吉田 誠(大学)・吉田 貴子(研修)・橋本 清(広報)
- 【名誉理事】 井上 三夫・山根 奨・山岡 伸吉・宮本 英男・松村 恵司

平成28年度 活動方針

国立大学法人奈良教育大学の同窓会は、会員相互の親睦を図り教育並びに社会の進展に寄与することを目的とする。また、大学の運営方針に添って協力し、更なる発展を目指す。

- 理念 ○ 会員相互のふれあいを大切にし、親睦を深める。
 ○ 学び合い、語り合う場を設定し、互いに教養を高める。

基本方針

同窓会活動及び、各支会活動の充実発展を骨子とし、参加勧誘を働きかけ、会の運営・維持に努力することを基本とする。

重点目標

1. 同窓会員として、豊かな人格を目指し会の発展に寄与する。
2. 会の運営・充実を図るため、年会費の増額・増収に努める。
3. 支会活動の活性化を目指し、充実を図る。
4. 同期同窓会の組織運営の強化を図り、深める。
5. 大学の発展と同窓会としての目標達成に支援し協力し合う。

委員会からのお知らせ

組織委員会・・

○会費納入の推進

- (1) 奈良教育大学同窓会への入学時の入会について
会則第3条に【在學生（学部学生・大学院生）を会員とする】を追加
- (2) 85歳以上の会員の会費納入方法について
会則第17条に【6 85歳以上の会員は、5か年分の会費を一括納入することにより以後の会費納入を免除される】この項を追加
【付則（平成28年5月18日）この会則は、平成28年4月1日より実施する。】この項を追加

○支会活動の充実及び未組織支会の結成支援

大学委員会・・

○学生同窓会活動への参加勧誘

○大学生との交流及び研修支援

研修委員会・・

○講演会及び親睦旅行の企画、運営→本年度は、加藤学長の講演会を行う。

○教員採用試験に伴う講座開設準備（H29年度開設予定）

平成28年度 奈良教育大学同窓会役員（敬称略）

理事：北 良夫・小田 和代・橋本 清・仲 輝明・中村 利典・松浦 陽子
 向出 恵宥・石橋 恭子・小谷 勝彦・武村 恵美・吉田 誠・中村 倫子
 滝川 満夫・錢本三千宏・谷口 尚之・深田 展功・西岡 由郎・山崎 淳美

事務局長：久保三左男

評議員（H28.5.15現在）

奈良：石原 勉・本車田達郎・井上 直一	北 葛：森岡 義博・増田 辰夫
玉置 寿幸・塚本 真人	香 芝：竹林 貞裕・荻原 雄一
天理：阪部 保・喜多 健一	葛 城：尾上 清隆
郡山：川本 好秀・三村 精一・奥田 政俊	御 所：永長 良之
山辺郡：今本 泰啓	五 條：榎 俊雄・喜多 孝行・栗山 浩
旧山添：西田美智子	内吉野：久保 隆
生駒市：上西 均・出原威佐夫	吉 野：森脇 敏彦・山方 峰
生駒郡：植田 国男・岡田 泰治	高 校：谷原 義永・岩崎 俊哉
桜井：上田 全計・浦前 正巳	大 学：和田 穰隆・豊田 弘司
磯城郡：吉村 豊・松村 宙亨	大 阪：中澤 新治・船留 昌代
宇陀市：城井 賦・向井 清・田中 三彦	東大阪：植田 勝・松川登志子・金治 延幸
橿原：中島 浩一・原田寿賀子	八 尾：山下 豊次・山田 昇
高市：脇本 雅子	京 都：井戸野仁司・濱 喜代巳
高 田：磯川 清榮・辰巳 恵子	三 重：布村 進・栢本 一三・東 博

支会だより

京都支会あおによし会 幹事長 尾野 和広
あおによし会は、師範学校、奈良学芸大学、奈良教育大学を卒業した京都府の同窓生を基にして、34年前に結成されました。毎年総会を開催し会員の研修と親睦を図っています。会員は、現役・退職者を合わせて61名です。平成27年度の「あおによし会総会」は、27年6月21日に木津川市の「川喜」で開催いたしました。総会には21名の参加があり、研修として、あおによし会会長・奈良教育大学同窓会事務局長の久保三左男氏から、「なぜ国立の奈良大学が誕生しなかったのか」について講話をしていただきました。奈良教育大学の沿革を知ることができ、会員の皆さんは大変興味深く聞き入っていました。その後の懇親会では、会話が弾み、席を立て

杯を重ねるなど、賑やかな雰囲気の中で会員相互の親睦を深めることができました。京都府には、会員以外で奈良教育大学を卒業した教員が多く在職しており、特に若い先生方が増えてきています。これらの先生方にも入会してもらえよう、会のアピールをもっとしようと考えています。



同窓会だより

奈良学芸大学昭和34年卒一部同窓会

昭和34年卒 福森 修平

昭和34年卒一部同窓会「34会」は、毎年3月4日に会を開いています。15回目となる今回は、平成28年3月4日(金)、昨年秋リニューアルオープンした「ホテルリガール春日野」で開きました。体調不良、家庭の事情等による不参加者もありましたが、17名の参加申し込みがありました。今回も奈良県内は勿論、遠くは東京都、福井県、兵庫県、三重県などから来られたいつもの仲間に、心から敬服するとともに力強く嬉しく思いました。

当日は天候にも恵まれ、春の陽気に包まれる中、開会前にホテルの玄関で記念集合写真を撮りました。今回からは階段の上り下りが煩わしくなく、出席者を見渡せるようにとテーブルの配置も考え会場は1階洋室で行いました。開会挨拶、事務連絡等を行い、その後今回初めて出席された瀬川忠男君に乾杯の音頭をとっていただき懇親会を始めました。

今年も一層有意義な楽しい情報交換の会になりますようにと願っていましたが、皆さんが持っておられる特技、持ち歌などを披露していただき、会が盛り上がったように思います。

瀬川忠男君は、ボケ予防のためにと「ボケます小唄」「ボケない小唄」(お座敷小唄の替え歌)を歌ってくれました。島本幸昭君は、昨年披露された「泰山木」(島本幸昭作曲)の曲に「春日野の宴」を作詞され発表されました。杉村常之君は「お水取り・大阪現状の発信等」を熱っぽく語られていました。

終わりに「今日の日はさようなら」をみんなで歌い、和気藹々のうちに散会しました。賑やかな雰囲気の中で、触れ合いの場として、人生の喜びの場として、再会を楽しむことができたようです。「お互いに元気でしっかり生きてさえおればまたお会いできる」。こんな言葉を交わし、別れを惜しみながら「さようなら」をしました。

春日野の宴

作詞・作曲 島本幸昭

松明の炎の下
集い寄る燦志の朋と
杯を傾け
辿り来し八十路
しばし巡り
ここに過ぎし日の影
今蘇りぬ

2016年詠



昭和35年卒奈良学芸大学一部甲類同窓会

昭和35年卒 岩井 利祐

平成27年7月24日(金) 橿原観光ホテルにおいて2年に1度の同窓会を開催いたしました。開会行事で今回は、幹事さんの研究テーマである「世界遺産一吉野・大峰祈りの道一」を披露されましたが、今回の幹事には何もありません。そこで、出席者全員の「1分間スピーチ」をお願いすることとさせていただきました。

自らの現況、日々の取り組みのテーマ、体の様子と病気等々、中には後期高齢者の堅ぐるしさ丸出して、ホテルのお姉さん方の心配顔をよそ眼に滔々とお話される同窓生も。後刻、こんな感想をいただきました。「一甲同期会お世話になりました。感謝の念で一杯です。一人一人の近況をお聞きしながら、それぞれの生活の一端を思い浮かべ、力強い歩みを続けられている同窓生の姿に元気をいただきました。心が晴れる楽しい一日でした。」

教育大学同窓会本部では、同期同窓会活動の推進を重点目標の一つに挙げていただいています。

ですが、同窓会が先の同窓生の感想のように、元気、活気、やる気をおこさせてくれる力があるとすると、ともすればのんびりだらりの後期高齢者の生活に無くてはならないオアシスかと思われれます。お互い、案内状が届いたときは、友を誘い出席する姿勢をとりたいたいものと思います。

閉会挨拶前に、次回幹事さんと、会費の関係で本部とつながっていただく幹事さんを選出し、次回にかける期待を大きくしながらお開きとさせていただきます。



桜寮同期会の報告

昭和34年卒 山下 米生

去る5月10日 ホテルリガール春日野で、昭和30年入学者の第8回目の同期会を開催しました。2名が急用と急病で参加不可能となり、10名の参加でしたが、久しぶりに得難い素晴らしい時をもつことができました。入学以来60年も経過し、傘寿かそれ以上になっています。

同期生は全部で37名、内8名は彼岸に旅立ちました。残っている者も闘病や家族看護、老化の不安を抱えた日々を過ごす身になっています。すると無性にあの懐かしい寮生活を思い出します。入寮した時は、建物は新築で寮生は90名余りいました。学年混合の4名1室、当時は特に寮を自治運営する熱気がみなぎっていて、寮規則の制定や改定等に長時間の全体会議を重ねたものです。

部屋では、教え合い助け合いの勉学、火鉢を囲んで夜を徹して話し合ったり、寮祭等に元気を発散したりしました。女子寮との交流もあり、質量ともに貧しい食生活で、仕送りの食品を分け合ったり、休日には、若草山等に出かけたりしていました。

衣類は自分でモミ洗濯をし、当初は風呂もな

く銭湯通いでした。大学での昼食は食堂のおじさんが自転車で校門まで持ってきてくれる弁当を頂き、そのあと奈良公園でよく草野球をしたものです。

今回参加の一人ひとりが、寮生活の楽しさや懐かしい出来事を語るとともに、過ぎし現職の日々の素晴らしい実践や厳しさを語り、お互い我を忘れて聞き入りました。若き日の自分探しの旅が少しでもでき元気をいただきました。私には大学よりもはるかに多くの大きなものを学んだ4年間の寮生活でした。寝食を共にした同志の皆さんに感謝し、再会を約して散会しました。



表紙について

「くんなかの風景」

くんなかからは、「春日・三輪・葛城・二上」等の山々を遠望することができる。

秋が近づき、夕日が生駒山に落ち夕焼けに染まる頃、矢田丘陵やその周辺は逆光の関係もあって淡いブルーから濃いブルーになる。夏に

は緑豊かに育っていた稲穂も金色の輝きを見せる。

住宅開発が進むなか生産緑地として農地が確保された。四季折々に変化に富む田園風景は、私を楽しませてくれる散歩道でもある。

昭和30年卒 南堀 良彦

会員からのたより

奈良の学舎を離れて

東京都 生野 公子 (S42卒)



奈良高畑の校舎を出て、出生地の東京で教員生活を送りました。現職時代の毎日は、目の前の仕事をこなすのに忙しかったのですが、今では成長した教員との交流に「先生をしていてよかった」と教職の素晴らしさ

を実感しています。

入学した時の大学名は「奈良学芸大学」でしたが、やがて「奈良教育大学」に変わりました。当時は米軍キャンプ地だった名残も見られ、あちこちに点在する校舎は木造で、敷地奥の外れには赤白市松模様塗られたタンクの残骸もありました。その近くの音楽練習室に通ってピアノやバイオリンの練習をしていたことも懐かしいです。裏の田んぼからウシガエルの声も聞こえました。

現在は毎年8月、当時の仲間たちとの集まりで奈良を訪れ、時には校内を一周しますが、すっかり変わった景色に少し寂しい気もします。しかし、夏の暑さの中でも運動の練習に励む学生たちの姿を見て、やがては現場で良い教員として活躍するのだろうと頼もしく思われます。ともあれ、古都奈良の大学出身であるという誇りは、大都会の人並みの中にも存在しています。

親の心 子の心

秋田県大潟村 森本 巳希 (H11卒)



かつて同じ学舎で教師を目指した夫と「農業」の道を選び、10年以上が経ちます。今は、25haを営む稲作農家の後継者として、また、3児の母として、悩んだり失敗したりしながらも充実した毎日です。

親となり思うのは、教師の姿勢や言葉から、子どもだけでなく親もたくさん事を学んでいるということです。睡眠や朝ごはんの重要性、今、何を目標に取り組んでいるかなど、細やかな説明で親は、納得し安心します。また家庭学習についても同様です。つい「親は忙しいのに」と弱音を吐きたくなることがあります。しかし、子どもが毎日持ち帰るノートには、先生からの心のこもったコメントが赤ペンでぎっしり書いてあります。すると、親も自然に子どものノートを見てほめたり、時には、子どものつまづきに気づき、励ましたりしたくなるものです。

わが子が自分の生まれ育った大地で学び育つことに幸せを感じつつ、夫と共に教育についても農業についても学び続けたいと思っております。

研修会だより

第14回一日親睦見学会に参加して

昭和31年卒 小田 和代

本年度の親睦会は、羽曳野市の河内ワイン館、岸和田市のだんじり館、河内長野市の国華園を見学しました。

世話役の先生方のお心遣いのもと、11月7日奈良交通バスで出発しました。奈良、天理、八木の3か所から乗り合わせた当日の参加者総数26名が揃い、最初の見学地「河内ワイン館」に9時40分到着しました。

ワイン館の大きな部屋の中に並べられたワインの樽。時をかけて熟成されている素晴らしい飲み物。人々の嗜好に応えるための品質改良に、命をかけてこられた方々の、長年の努力の一端を知ることができました。

試飲館では、いくつかのワインの特徴や飲み方など説明を受けました。目の前に並んでいるおいしそうなワインの列に顔もほころび、これはと思うものを選び試飲させていただきました。みんなはすっかりワイン党になっていました。

昼食は、岸和田の「和食さがみ」で和やかなひと時を過ごしました。岸和田だんじり会館の



見学は12時50分からです。

和やかな雰囲気の後には、だんじりの熱気とその力強さに接することができました。最初の部屋では実物大のだんじりと大型マルチビジョンによる映像で、岸和田っ子の心を躍らせるだんじりの迫力がリアルに紹介されていました。

4階の体験コーナーでは、だんじりの大屋根に乗る体験、だんじり囃子の鳴り物の体験などを通してだれもが主人公になり祭りを心行くまで楽しむことができるようになっていました。

元禄16年に始まり、以来300年の伝統と誇りを連綿と受け継ぎ育まれてきた様子がよくわかり、その迫力に心の高鳴りを覚えました。

最後の見学は、日本菊花全国大会が開催されている「国華園」でした。広大な場所に、日本菊花会の選りすぐった花の素晴らしさに息を飲みました。万を数えるすべての花や葉が、少しの緩みもなく生き生きと保たれて誇らしげに並んでいました。

それぞれの鉢に精魂を傾け、愛する花に愛情を注ぎ育てられた菊花を目の当たりにしながら、微に入り細をうがう人間の力に深い感動を覚えました。

限られた時間の中で、新たな知識を得た喜びを胸に秘め帰路につきました。



史跡めぐり研修会に参加して

大学院教育学研究科 杉浦 慶亮

9月26日～27日奈良教育大学同窓会の一泊二日の研修会に参加しました。この研修会を通して2つのことを学びました。

一つは、長野県の文化遺産に触れることができたことです。中でも、無言館、松本城が特に印象に残っています。無言館は、第二次世界大戦で亡くなられた画学生の作品が展示されており、その作品から戦争の悲惨さや友情、愛情など様々なものが伝わってきました。松本城では、戦国時代に建てられた影響が多く残されており、城を守るための工夫など当時の人々の築城の技術を垣間見ることができました。この2つの見学から得た知見を、将来社会科の教員になったときに、生徒の関心を引くため有益な教材として活用していきたいと思えます。

二つ目は、先輩の先生方から、実際に学校現場で起きた出来事やご苦労されたことなど、講義では聞くことのできない多くの貴重な話をお伺いできたことです。まだ教育現場に出ていない私にとって、自分には教師としての力量がまだまだ不足していることを再確認するきっかけになりました。また同時に、教師という仕事のやりがいを感じる事ができ、教師を目指す意欲がさらに高まったような気がします。

最後に、この研修会に参加して様々な経験が得られ、人と人とのつながりの大切さを改めて実感しました。また、出会いを大切に、教師としての力量を高めるために多くのことを吸収していきたいと思っています。



大学院教育学研究科 西井 鉄雄

研修旅行の行程は、長野県の元善光寺・戸倉上山田温泉・無言館・松本城の順に進められました。この研修で勉強になった点が2点あります。

1点目は、教師として大先輩の皆様方から直接いろいろなお話を伺えたことです。私はまだ現場で働いた経験がありません。皆様方が勤めておられたときの校外学習や修学旅行などの体験談、20～30年前の大阪府や奈良県の実態、子供の様子などのお話はこれから教師をめざす私にとって大変有意義なものになると強く感じました。

2点目は、無言館や国宝の松本城を見学し、第二次世界大戦の悲惨さや近世の歴史を少しでも理解を深めることができたことです。第二次世界大戦のことは、私の祖父の話やテレビなどでしか知ることができなかったため、改めて戦争の悲惨さを目のあたりにし、心に残るものがありました。「無言館」では、それぞれの作品が訴えかけてくるものに感動し、建物の名前のように無言で作品を見ている自分に気づくことができました。また、この世界大戦で多くの美術学生の尊い命が失われていることがわかりました。私たちは、これらの作品を残して亡くなられた人たちの分まで生きていかなければならないことを、強く感じました。

またこのような企画があれば、自分の人間力を高めるために是非参加させていただきたいです。



会報「まほろば」配送経費軽減のためご了承下さい

会報「まほろば」の送付にあたり、広告手数料による配送経費軽減の観点から三井住友トラストVISAゴールドカードと三井住友トラスト保険サービス株式会社のパンフレットを同封しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

VISAゴールドカードの年会費は通常1万円ですが、同窓会との団体契約のため、年会費が2,500円となり、格安です。(毎月送付される冊子は送られません。)

まほろばの発送は、これまでと同じ業者に依頼し、会員の皆様の個人情報とはこれまでと同じように保護されています。

奈良教育大学同窓会事務局

“フレッシュマン” から同窓会へ

奈良の地で— 学び 創造、学び 発信。



平成27年卒 村木 拓朗

教師になることが夢だった私は、平成27年4月から教壇に立つことができました。この1年間を振り返ると初めは、どんな子供たちと出会い、どんな生活が始まるのか、楽しみもありましたが不安の方が多かったです。

しかし、その不安もすぐに消えてなくなりました。それは、キラキラした笑顔の子供たちに出会えたからです。この笑顔を毎日みる事が

できるのは嬉しく、私も笑顔を絶やさぬようにしようと決意し、今も続けています。日々、子供たちの笑顔に元気をもらい、子供たちに様々なことを教わりながら、共に成長して頑張ってきました。

私が大事にしていることは、何事にも真剣に取り組むということ。楽しさや悔しさなどを経験し成長してほしいと思っています。私自身が一番真剣に取り組む子供たちを引っ張り、一緒に楽しみながら過ごしていきたいです。

同窓会の益々のご発展をお祈りしています。

～キャンパスだより～

☆入学生はどの府県から？ (H27年度) ☆卒業生の進路は？ (H26年度卒業生)

1 大阪府 82名	5 岐阜県 5名	教員 幼稚園 2名	公務員 8名
2 奈良県 80名	7 岡山県 4名	小学校 56名	企業 22名
3 京都府 23名	7 福井県 4名	中学校 22名	大学院などへの進学 25名
4 兵庫県 22名	7 北海道 4名	高等学校 5名	
5 和歌山県 5名		特別支援学校 5名	
(卒業高校所在地で調査)		期限付き採用 46名	*資料—2015年大学概要*

事務局だより

- 昨年度より、会費を納入して頂いている会員の皆様方へのみ会報「まほろば」を発送しています。会費の納入率が年々悪くなっているため苦肉の方策です。ご理解ください。
- 事務局に直接電話を設置しています。ファックスの送受信も可能になりましたので、連絡にご活用下さい。
☎ 0742-21-6101 FAX 0742-21-6102
- これまでの大学総務課経由の電話も使用できます。☎ 0742-27-9105
- 会費納入者が減少しています。会員の皆様のご協力をお願いします。
- 個人情報の保護には、万全を期しています。

編集後記

- 「開かれた魅力ある同窓会」を目指して2年間の活動を支えてくださった中谷要会長が勇退され、新会長に森康雄氏が就任されました。
- 母校を懐かしむ心情が、同窓会の飛躍につながることを信じ、会員の皆様の励みになる「まほろば」でありたいと願っています。新装A4版になった第29号をお届けします。
- 遠隔地から寄せられた会員の声は、胸を熱くします。また、母校で学び新しい世界へ羽ばたこうとしている若人の力強い言葉に、よき未来を感じます。
- 同窓会が大学と相俟って学生会員の増強を図り、相互の親睦を深めることにより、大学の進展と同窓会の強固な活動につながることを期待しています。

原稿募集

会報「まほろば」30号の原稿を募集します。A4版に紙面を拡大したことを機会に会員からのたより欄を設けました。多くの会員の皆様からの投稿をお待ちしています。500字程度で顔写真等お願いします。送付先：同窓会事務局広報委員会宛

平成28年度広報委員会委員 (50音順)

北 良夫、仲 輝明、中村 利典
橋本 清、松原さおり、山崎 淳美

平成28年6月30日 発行
 奈良教育大学同窓会会報「まほろば」第29号
 —題 宇 故 川淵勝元会長—
 発行所 奈良教育大学同窓会事務局
 〒630-8301
 奈良市高畑町 奈良教育大学内
 ☎ 0742-21-6101 Fax 0742-21-6102
 ☎ 0742-27-9105 (総務課経由)
 郵便振替番号00900-2-9400
 発行兼編集 奈良教育大学同窓会広報委員会
 印刷所 関西印刷株式会社
 奈良市南半田中町19-20番地